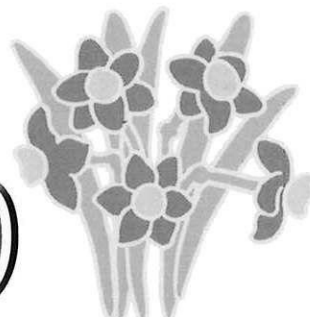


和泉市議会だより



市の花「すいせん」

平成30年第2回定例会を6月8日から6月28日までの21日間の会期で開催しました。
詳細は2ページ以降をご覧ください。

本市議会では、市民の皆さまにわかりやすく、審議内容を知っていただくため、今定例会から、議場での中継も、従来のパソコンに加えてスマートフォン等でも気軽にご視聴いただけるように改善いたしました。また議場の雰囲気を感じながら、実際に議会を自由に傍聴していただくこともできますので、ぜひお越しください。

次回定例会の予定及び傍聴のご案内については、10ページをご覧ください。

平成30年第3回定例会は9月10日開会の予定です



4月1日にオープンした和泉市立総合医療センター（和気町）

のりーすアツ

平成26年4月から、医療法人徳洲会による病院運営がスタートし、医師確保や救急の部分的再開などを経て、病院業績も徐々に回復。また、新病院建設に向け、市と協議を重ね、予定通りこの4月には名称も新たに再出発しております。

経過としては、平成24年10月に病院問題特別委員会を立ち上げ、課題の洗い出しから、今後のあり方等、延べ6回の委員会において協議し、翌年3月には、指定管理者の制度の導入に関する条例を議決。その後、9月には指定管理者として医療法人徳洲会を承認しました。

関係者皆様のご尽力に感謝すると共に今後の発展に期待いたします。

目次

○ 審議結果一覧表	P.2
○ 委員会報告	P.2～3
○ 一般質問	P.3～8
○ トピックス	P.9
○ 第3回定例会の予定等	P.10

定例会審議結果一覧表

件名	委員会	本会議
専決処分の承認を求めることについて (和泉市税条例の一部を改正する条例(平成30年和泉市条例第20号))	承認(全会一致)	承認(全会一致)
和泉市税条例等の一部を改正する条例制定について	可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について	可決(全会一致)	可決(全会一致)
大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議について	可決(全会一致)	可決(全会一致)
財産取得について(市立光明台中学校給食室厨房機器)	可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市指定地域密着型サービス事業者の指定に関する基準並びに指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市立幼稚園条例の一部を改正する条例制定について	可決(賛成多数)	可決(賛成多数)
和泉市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	可決(全会一致)	可決(全会一致)
平成30年度和泉市一般会計補正予算(第1号)	【総務安全所管分】	可決(全会一致)
	【厚生文教所管分】	可決(賛成多数)
財産取得について(和泉市家庭系日常(可燃)ごみ指定袋)		可決(全会一致)
上記の他、報告15件、監査報告10件、意見書3件をそれぞれ可決等しました。		

委員会報告

各所管の常任委員会では、第2回定例会で上程された議案を審査しました。ここではその内容を一部要約して掲載しています。

総務安全委員会

平成30年度和泉市一般会計補正予算(第1号)について

問 いずみの国納涼花火大会の警備費の増額理由は。また、近年同程度の催事はあったか。

答 増額理由は、警察との協議において、交通規制の範囲を拡大したことにより、警備員の増大及び警備資材等を追加したためである。また、近年で同程度の警備費用を要した催事は平成28年10月に行われた市制60周年記念和泉だんじり大集合である。

問 応援職員の人数は。

答 警備会社と協議の上、配置を精査中であり、300人、350人の配置が必要になる見通しである。

問 各種団体への応援要請の予定は。

答 各種団体へ応援を求める予定はないが、開催当日自主的にパトロールを行う等、手を挙げてくださいという団体もある。

都市環境委員会

都市環境委員会に付託された議案、「大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議について」につきましては、質疑はなく、全会一致で可決しました。

厚生文教委員会

和泉市立幼稚園条例の一部を改正する条例制定について

問 公立幼稚園の運営方針として、集団教育、行財政上の観点から園児20名という基準があったと思うが、北池田幼稚園は30年度は24名の運営の中で廃園とする理由は。

答 個に応じた援助、協同性の援助という観点から、全園児20名ではなく、一学年20名という基準であることから、4歳児6名、5歳児18名の当園を廃園とするものである。

問 近隣に認定こども園ができると聞いているが、開園時期は。

答 31年4月開園予定である。

問 在園児の保護者や地元への説明は。

答 保護者には5月末に本定例会への廃園条例の提出をお知らせした。今後、議決後に保護者や地元校区への説明を行っている予定である。

庁舎整備特別委員会

新庁舎建設に係る整備手法及び今後のスケジュールについて

問 基本設計から一括型デザインビルド方式は、追加工事が生じても総工事額に変化が生じにくいと言われているが、今後、物価上昇が生じた場合、労務費への影響は。

答 契約締結日から1年が経過し、一定以上の賃金や物価上昇があった場合、スライド条項が適用されることにより、労務費への影響はないと認識している。

問 3号館の改修工事、解体工事、外構工事、立体駐車場の整備を一括発注しなかった理由は。

答 除却工事や外構工事は、人件費の割合が高く、新庁舎本体の仮囲いと共有が見込めないこと、また、立体駐車場は、メーカー認定品の採用の可能性が高いことから、本体工事に比べて期待されるメリットが少なくないと考えられることから、一括発注しなかった。3号館の改修工事は、新庁舎と渡り廊下で接続する部分の外壁部分の取り合いがあるので、施工内容にに応じてデザインビルドと一括発注も含め、基本設計事業者と協議の上、整理したいと考えている。

一般質問

6月25日・26日には17人の議員が市政全般に関する一般質問を行いました。
ここではその内容を一部要約して掲載しています。



市民ニーズを踏まえた公園の整備と活用について

明政会

山本 秀明

問 本市の公園利用を活性化する手段として、民間活力による新たな都市公園整備手法である、パークPFI制度を活用し、整備が進まない松尾寺公園の整備に活用していくべきと考えるが、市の見解は。

答 松尾寺公園は未買収地が多いという懸念があるが、パークPFI制度の活用について、検討していきたい。

問 公園整備の市民ニーズとして、専用のグラウンドゴルフ場の設置要望をよく聞く。グラウンドゴルフは高齢の愛好者も多く、高齢者の健康維持、介護予防にも有効なスポーツである。規模の小さな公園での設置は無理としても、総合公園である松尾寺公園などでは、提案したパークPFI制度を活用するなどの方法で、専用のグラウンドゴルフ場の整備を検討いただけないか。

答 今後の整備には市民ニーズ、時代のニーズの取入れが必要であり、専用のグラウンドゴルフ場の整備も検討していきたい。

意見 これらを実現するポイントは、パークPFI制度で良い民間パートナーに出会えるかである。そのためには、早い段階で市の方針をまとめ、パートナーになる民間企業へ早期のアプローチが必要である。

その他の質問項目

・ミュージアムタウン構想について



町会等整備費助成金について

明政会

杉本 淳

問 町会館等の新築等の助成金申請にあたり見積書の審査はどこがしているのか。

答 公民協働推進室で審査している。

問 審査を行うのは建築の技術職員か。

答 一般事務職員が審査している。

問 一般事務職員が1平米あたりの単価を参考に審査するというが、適正な見積書かどうかを審査するには、やはり専門の建築の技術職員が審査すべきではないか。

答 指摘のとおり専門の建築職により見積書をチェックすることにより適切な審査が行えるものと認識し、今後はより適切な審査体制が取れるよう関係部局などと協議したい。

問 要綱では1平米あたり6万円としていたが建設費などの上昇を考えると、この上限価格について要綱を見直す考えはあるか。

答 指摘のとおり建設単価は年々変動するものであり、ここ数年上昇傾向にあることなどから関係課と協議の上検討したい。

問 伏屋、東阪本、山ノ谷といったコミュニティ供用施設の今後の位置付けは。

答 この3施設については今後、公共施設等総合管理計画に基づき、地域住民による管理運営が可能な施設でもあり、地域への移管を検討している。

その他の質問項目

・市老人クラブの補助金について



自転車を活かした
まちづくりについて
大阪維新の会
飯阪 光典

問 近年、愛好家が急増中の自転車を、観光として経済政策を含んだ「まちづくり」のツールとして活用すべきとの観点から質問する。観光施策として、和泉府中駅から「鍋谷峠」までサイクリングルートを設定しているが、このコースの「安全性」と外国人観光客を含めた観光客への「わかりやすさ」への対策はできているのか。

答 「安全性」については大阪府との協議を踏まえて検討する。「わかりやすさ」については統一誘導サイン等をKIX泉州ツーリズムビューローと相談してまいりたい。

問 民間の活力により行政が予期せずして南大阪で最も有名と称される自転車ヒルクライムの聖地となった「鍋谷峠」を活用したサイクルイベント開催への考えはどうか。

答 国道480号引き継ぎ時点で開催できればと考えている。

要望 観光施策の成功の鍵は「三方よし」の原則、つまり、「地元住民」「観光客」「行政」の三者それぞれが利するものがあってこそ成り立つと考えるので、しっかりと意見交換を行うことを要望する。また、「横尾川ダム跡地」の有効活用として、現在進行中の「四季を感じる森づくり」を進めると同時に、自然の急峻な地形を生かし、ファミリー層や観光客を呼び込むため、BMXやMTBの自転車コースの併設を要望する。



児童発達支援センター
について
無会派
小林 昌子

問 28年度と29年度の補助金支給実績と29年度の経営状況は。

答 28年度は約2,470万4千円、29年度は約2,080万5千円の支給で、29年度は約900万円の黒字である。

問 この補助金は機能訓練士等の配置に対する人件費を補助するためのものだが、黒字になっても補助するのか。赤字対策として導入されたのではないのか。

答 センターは福祉型であり、必ずでない機能訓練士等を配置することで身近な地域で重症心身障がい児が療育を受ける事ができるものである。障がい児が安定した療育を受ける事ができるよう、配置実績に応じた補助金で、経営状況とは関係ない。

問 29年度の機能訓練士等の配置状況は。

答 非常勤対応で開所日数289日の内、理学療法士は61日、作業療法士は36日、言語聴覚士は58日の配置となっている。

問 機能訓練士はいずれも非常勤対応で、その配置は4分の1から6分の1に留まっている。これでは特色ある児童発達支援センターの本来の目的を達成していないのではないか。

答 重症心身障がい児は、月曜日から水曜日に登園しており、平成30年4月からは、いずれかの機能訓練士が月・火・水曜日には出勤して対応している。



犬のふん放置撲滅作戦
について
五月会
浜田 千秋

問 犬のふん放置をなくすために、宇治市が行っているイエローチョーク作戦（放置されているふんの周りをチョークで囲み日時を記載。再確認時、まだあれば再確認の日時を記載。無くなっていれば「なし」と記載。これを繰り返し）に取り組みたいと市民団体から声があがっている。市としてこの活動を後押しできないか。

答 この作戦は、飼い主のモラル向上のために、市民や民間団体が主体的に自らの活動として行っていた活動であると認識している。先駆的に取り組んでいる自治体から情報の収集に努めると共に、公民協働としての活動となるよう、市民の皆様と共に考えながら周知のあり方等について早急に検討を重ねていく。

要望 この作戦は、ふんを放置した飼い主に困っている人や迷惑を被っている人がいることを伝える方法で、誰でも手軽に始めることができ、時間がたてば文字も自然に消える。経費もかからず、方法も簡単である。この活動が一日も早く実現し活動できるように、市が主導するのではなく、市民と行政の新たなパートナーシップの構築をめざし、周知のあり方についても早急に検討し、ふん放置撲滅に向けて、後押ししていただくようお願いしたい。



町会・自治会への加入促進
について
大阪維新の会
松本 利裕

問 本市の町会・自治会加入率の直近3年間の推移について聞く。

答 平成27年度は60・9％、28年度は59・4％、29年度は58・1％と年々減少している。

問 全国的な課題ではあるが、本市においても、加入率が低下している。では、町会・自治会に加入するメリットは何か。

答 町会・自治会は、行政と地域住民を結び組織として重要な役割を果たしており、加入することで、地域における課題を共有し問題解決を図れる。また、人と人とのつながりから、災害時などの緊急事態にも互助による救援救護など適切に対応ができる。

問 市長は所信表明において「町会・自治会への支援拡充」に取り組んでいくと述べていたが、どのような支援拡充を行うのか。

答 町会連合会と協議・調整を行っており、他自治体の事例や校区長会議を通じ実施のアンケート結果を参考に支援策を協議する。

要望 災害時に最も重要なのは「公助・共助・自助」である。共助という意味では、町会・自治会の日頃の取り組みを多くの方々に知ってもらうことが、非常に大切なことである。それがスムーズな公助へつながるのではないかと考える。今後、支援策について協議していくということなので、少しでも多くの方々の加入促進につながる支援拡充を要望する。



高齢者おでかけ支援事業
について他
公明党
末下 広幸

問 人口減少社会において、高齢者の方が元気に活躍できることは必要不可欠だと考える。高齢者の社会参加促進について伺う。

答 国のガイドライン等で、介護予防は機能訓練などの高齢者へのアプローチだけでなく生活環境の調整や地域での生きがい・役割を持つて生活できる居場所づくりが必要としている。本市も生きがい・安心のある暮らしの実現に向けて取り組んでいく。

問 高齢者おでかけ支援事業の公共交通の利用促進及び維持・活性化について伺う。

答 高齢者支援担当と連携し、よりよい効果の出るよう検討してまいりたい。

問 いじめの早期発見の取り組みについて伺う。

答 児童生徒が示す小さな変化やサインを見逃さないように保護者や地域とも連携し情報収集に努める。また、定期的なアンケート調査の実施や教育相談を実施している。

問 SNS等を活用した相談事業はあるか。

答 大阪府などの実施状況を踏まえた上で本市への導入について研究してまいりたい。

問 現在の投票所の配置及び期日前投票所の増設についての考えを伺う。

答 有権者の投票環境の改善に向けて、投票区・投票所及び期日前投票所の配置に関する計画案を策定し、関係する地元への説明を行ってまいりたい。



歳入の確保と今後の展望
について
五月会
関戸 繁樹

問 本市の後期高齢者人口増加率は府下トップであり、歳入確保の取り組みが急務である。固定資産税の収入増のため、地権者の同意が得られた市街化調整区域を市街化区域へ編入すべきだが、市の考えを問う。

答 地権者同意を前提に適切な開発計画と判断できるものについて府と協議を進める。

問 未整備の都市計画（公園・道路）予定地の固定資産税が年間約1,300万円も減額されている。早期に見直すべきでは。

答 公園は平成32年度に見直す。道路は今後十分に検討し、廃止・存続を方向付ける。

意見 廃止区域の税収増加を図り、存続させる公園・道路は早期に整備すべきである。

問 現在不用又は今後不用となる公共施設が多数ある。早期に売却や民間への貸付等を行うべきだが、市の考えを問う。

答 不用な施設は早期に売却し、今後も不用となった時点で売却していく。

問 市の施策を確実に進めるべく定期的に策定してきた計画の次期方針を問う。

答 健全な財政収支見通しや経費抑制、自主財源確保に努め、事業の選択集中を図る。
意見 公共施設を「行政にしかできないのか」「民間に類似施設はないのか」という厳しい視点で見直すことが不可欠である。
その他の質問項目
・特定空き家等の固定資産税課税について



和泉市久保惣記念美術館と
茶室について

五月会

森 久往

問 久保惣記念美術館の茶室の価値と活用について聞く。

答 美術館の茶室は昭和12年から16年頃に二代久保惣太郎氏によって建築され、昭和57年に美術館とともに市に寄贈され、平成18年に建造物の国の登録有形文化財に登録された。登録には「再現することが容易でないもの」という基準があり、茶室の聴泉亭（ちようせんてい）と惣庵（そうあん）はこれに該当することから登録されている。茶室の特徴としては、京都の表千家の残月亭（ざんげつてい）と不審菴（ふしんあん）をほぼ忠実に写しており、上質な材料と高度な茶室建築技術を駆使した建築として貴重なものとして評価されている。活用については、初釜等の催しをはじめ、昨年10月には、初の点心付き茶会となる開館35周年記念茶会を催した。

意見 一番大切なことは、久保惣記念美術館の新しいファンをつくることである。小さい頃から芸術に触れ、茶会などにも参加できるような場を創出することだと考える。10年間で2万人の小学六年生が見学に来られたということだが、当時12歳の子どもは22歳になっている。2万人と言わず10年間で4万人を目標にしてはいかか。市民が誇れる美術館ということは、子どもたちが誇れる美術館であるということである。



障がい児通所支援事業
について

明政会

辻本 孔久

問 直近3年間の障がい児通所支援事業の利用者数を聞きたい。

答 実人数は、27年度は410人、28年度は483人、29年度は547人である。

問 年々利用者が増えているが、今後どのように推移していくと考えているのか。

答 30年度は537人、31年度は627人、32年度は732人と見込んでいる。

問 現在の市内36事業所に対応できるのか。

答 一人の児童が一月に利用する平均日数からすると可能と考えるが、状況を的確に見極め、認可について府と連携していく。

要望 私は心配だ。利用者に回数制限等する事のないよう強く要望する。

問 児童発達支援事業の保護者の利用者負担を全額公費で負担できないか。

答 他市の状況等調査するとともに、国・府への要望も行っていく。

要望 特に保育所と併行通所する家庭にとっては2重の費用負担となり、さらに送迎も必要なことからフルタイムで働く事が非常に困難である。まず児童発達支援の公費負担を強く要望する。実現すれば次に放課後等デイサービスの公費負担を要望する。

その他の質問項目

・和泉市総合スポーツセンターについて



「子どもの貧困対策」
について

日本共産党

早乙女 実

問 子どもの貧困に関する会議や進行管理はどのようにされているか。

答 子どもの貧困会議は、平成29年度は9月と3月の2回開催した。その中で関係各課の関係施策を出し合い、今後の方向性を確認し、個別の進行管理については、各担当課で行いながら連携するとした。今後は他市事例も参考に検討していく。

問 学校「プラットフォーム化」の考えは。

答 総合的な貧困対策推進のため、虐待から守る様々な情報を集約し、情報の校内共有や、スクールソーシャルワーカーやカウンセラーとも連携し、チーム学校として対応している。また、スクリーニングを活用し、気になる子どもを早期にピックアップし、配慮や支援を必要とする子どもを、支援の網から「漏らさない」ように、確実に支援や対応につなげている。以上のように、学校を「貧困対策のプラットフォーム」と位置づけることで、学校だけの取り組みに終わることなく、地域や家庭、専門家や関係部局の福祉部局、こども未来室、子ども家庭センター等と連携することで、支援や対応が必要な児童生徒や家庭を、漏らすことなく対応できる仕組みづくりの充実に、さらに努めていく。

要望 さらに「貧困対策条例」を制定し、「子どもの貧困対策計画」策定を要望する。



和泉府中駅前交通安全対策について
公明党 服部 敏男

問 平成30年2月より和泉府中駅前広場の交差点が「ラウンドアバウト」という環状交差点として運用されている。運用当初には、環状部分を逆走したり、課題もあったが、どのように捉えているか。

答 和泉警察とも協議し、環状部分に時計回りの矢印の路面標示を行うほか、環状入り口部分に左折進入の看板を設置するなど対策に努めている。

問 自転車の乱横断や飛び出しなど非常に危険な走行が多い。特にフチュール和泉の商業公益棟と駐車場棟の間を非常に速い速度で抜けて横断歩道へ進入する危険な走行も見受けられる。何か対策を講じることはできないか。

答 フチュール和泉の商業公益棟と駐車場棟の間を抜けてくる自転車については、歩道上の植栽面積を広げて自転車走行空間を狭めることで、自転車の減速を促し、また横断歩道進入前に「自転車速度落とせ」の路面ステッカーを貼り付けることで、注意喚起を行う予定となっている。また、和泉府中駅前全般の安全対策については、引き続き警察とも協議を進め考えていきたい。

その他の質問項目

- ・登下校時の通学路の安全対策
- ・ひとり親家庭の安心・安全のシステムづくり



生活保護について
日本共産党 岡 博子

問 借家居住の単身者が6か月以上の入院で退去となる場合、家財処分はどうなるか。

答 ほかからの援助等で経費を賄えない場合、処分業者から見積もりをとったり部屋内立ち会い等近親者の協力が必要となる。

問 その後退院となった場合の支援は。

答 敷金20万4千円以内、家賃3万9千円以内、布団類1万9,100円以内、家具什器2万8,700円以内を支給する。

要望 安易に退去とせず、病院から病状の情報を得て判断していただきたい。

問 持ち家所有の場合はどうなるか。

答 住宅ローンがなく、処分価値が少ないものは保有を認め、保護適用している。

意見 固定資産税を払いながらの生活だ。

問 親子2人世帯で、一方の転出が決まった時点で相談された場合はどうなるか。

答 そのときの世帯の状況に応じ決定する。

要望 相談時には2人世帯で保護適用とならない場合でも「転出はいつか」と市民の立場で親身に対応していただきたい。

また、市では生活保護の収入基準を適用した生活支援制度として、生活福祉資金貸付制度や就学援助金があるが、他市ではこの収入基準を適用しない傾向にある。本市でも生活保護基準を参考にした数字をはじめ出すことはぜひ改めて、独自の所得認定基準を決めていただきたい。



高齢者支援について
公明党 永田 香織

問 本市の一人暮らしの高齢者数を聞く。

答 平成27年国勢調査結果では、7,084人である。

問 傾聴ボランティア団体数とその活動をする人数を聞く。

答 団体はなく、傾聴の資格等はないが個人で活動されている方は7名登録している。

問 傾聴支援の活動に対し、ボランティア養成やスキルアップのための研修助成など、市の取り組みの現状を聞く。

答 養成や育成を目的とした施策はない。各室課での事業の中で、傾聴の内容を含んだ人材育成等は取り組んでいる。オレンジカフェのボランティアから、スキルアップを望む声があり、傾聴スキルを学ぶ研修の実施を検討中である。

要望 傾聴ボランティアが通常のボランティアと異なる点は、傾聴に対するスキルのトレーニングを受け、実施する点である。単身高齢者は、対話が少なく孤立しやすい状態になりやすい。傾聴ボランティアによる対話や他者との交流は、社会的な能力の維持が期待できる。他市では傾聴ボランティアの方に助成があると聞いている。本市でも傾聴ボランティア独自の養成やスキルアップのために体制の構築や予算の確保、また、フレイル予防（介護予防）サポーターの養成・育成も併せて強く要望する。



実施が決まったおでかけ
応援バスの今後について
明政会
大浦 まさし

問 和泉市でも平成32年度から導入していただける高齢者おでかけ応援バスだが、実施に向けて検討している3つの方法について聞く。

答 一乗車につき一定額以上を補助する「割引方式」、回数券を交付する「回数券方式」、負担金納付でフリーパス乗車券を交付する「定期券方式」を検討している。

問 平成32年4月スタートだと考えて逆算すると、国に申請の必要があれば半年くらい時間を要することから、平成31年8月頃には内容決定の必要がある。今から後一年間で公共交通利用活性化プロジェクト委員会での意見集約や市民からの意見集約も含めて内容等全て決定しなければならぬが、スケジュールは間に合うのか。

答 平成32年度実施に向けて、しっかりとした意見交換を行いながらスケジュール等も含めて進行管理していく。

意見 過去の私の一般質問や市長タウンミーティングでの市民からの直接の声などから取り上げて検討を始めてもらった高齢者おでかけ支援事業への取組みである。私もこの事業を言い出した議員として実施されるその日までしっかり見届けたい。

その他の質問項目

・学校敷地周辺の清掃活動を通じた地域とのつながり・心の教育について



通学路の安全対策について
大阪維新の会
遠藤 隆志

問 見通しの悪い交差点や危険箇所（ホットスポット）、子どもたちの自宅付近において、子どもが被害にあう事件が多く発生している。現在、子どもの安全確保の観点から、GPS等での位置情報を活用した「登下校見守りサービス」が各社から提供されているが、和泉市内各小中学校での利用状況は教育委員会では把握されているか。

答 現在、市内の小中学校においては、ICタグを活用した登下校の通知サービスを21校中11校が導入している。しかしながら、GPS等での位置情報を活用した「登下校見守りサービス」は、現在利用している学校はない。また、「登下校見守りサービス」の導入に関しては、機器の高額費用面や検知の精度、サービス利用料の保護者負担等の課題があり、今後、研究していきたい。

要望 各校区によって取り組みに差異が生じていることは、大いに問題がある。短期間に2度も児童が被害にあう痛ましい事件が発生しているにもかかわらず、なぜ本市主導で市内全児童の安全対策に取り組んでいただけなのかと痛感した。本市においては絶対に被害者を出さないという断固たる決意をもって「通学路の安全対策」に取り組んでいただけるよう強く要望する。

その他の質問項目

・AEDの普及について



「芦洗公園（府中町）」の全面開放について
無会派
小野林 治三夫

問 グラウンドゴルフ愛好者が増加する中、今後の公園整備についての考え方は。

答 既存公園の維持管理や老朽施設の修繕等を行うとともに、総合公園（黒鳥山・松尾寺）の整備に努めている。

問 私が議員になった折、一部開放していただいた「芦洗公園」のその後の状況は。

答 街区公園として都市計画決定し、公共用地先行取得事業債を活用して0.65haの用地を確保し、27年度に償還している。

問 旧市民球場横にあった多目的グラウンド利用者が市立総合医療センターの敷地となり閉鎖になったことから健康・スポーツ・コミュニティの場が無くなって困っている。元の大きなグラウンドを望む声も多い。

答 「芦洗公園」を早急に広げていただきたい。総合公園（黒鳥山・松尾寺）の整備のめどが一定たった段階で、「芦洗公園」の整備をと考えている。

要望 用地が100%確保された資産を無駄にいつまで眠らすのか。核家族・少子化と言われる中、地域での繋がりが大変希薄になっている。「地域の教育力」向上のため、子どもと高齢者のコミュニティの場として大切な役割を担う公園。子どもと高齢者が交流することにより親が繋がりが、より良い地域が育まれる。一刻も早く「芦洗公園」の全面開放を強く要望する。

常任委員会視察報告

他市の先進事例を学び、市政に生かすため、各常任委員会が行政視察を行いました。
市議会ホームページに視察報告書を掲載していますので、どうぞご覧ください。

■総務安全委員会

日 程 : 4月23日～24日

視察先／目的：①千葉県千葉市
ちば市民協働レポートについて
②千葉県流山市
ファシリティマネジメントについて



■都市環境委員会

日 程 : 4月19日～20日

視察先／目的：①山口県山口市
地域住民主体で運行している
コミュニティタクシーについて
②山口県周南市
中心市街地活性化事業について



■厚生文教委員会

日 程 : 4月16日～17日

視察先／目的：①佐賀県佐賀市
幼保小接続期のプログラムについて
②福岡県春日市
コミュニティ・スクールについて



議員研修会報告

7月30日に大阪府南部市議会議長会主催の議員研修会が高石市で開催され、本市議会からも多数の議員が参加しました。

演題：「議会改革の課題と処方箋」

講師：廣瀬 和彦氏

((株)地方議会総合研究所代表取締役・
明治大学政治経済学部講師)



議員視察研修会報告

議会フロアの在り方や紀の川市庁舎の設計
コンセプト実現手法について視察しました。

日 程：5月17日

視察先：紀の川市

目 的：紀の川市役所庁舎視察



政務活動費をホームページで公開

平成29年度分の政務活動費から領収書、会計帳簿及び使途基準を市議会ホームページで公開しました。

3 件の意見書を可決

各関係省庁へ送付しました。

- ・日本年金機構の情報セキュリティ対策の見直しを求める意見書
- ・ヘルプマークのさらなる普及推進を求める意見書
- ・核兵器のない世界を求める意見書

議会の情報を発信

◇市議会ホームページ

・議会中継

本会議や委員会の様子を生中継しています。録画映像は会議終了後から3日程度でご覧いただけるようになり、1年間見ることができます。

・一般質問・大綱質疑要旨

議員がおこなう質問項目を定例会ごとに掲載しています。

・会議録速報版

会議を開催してから約1ヵ月後に校正前の会議録を公開しています。その後、正式な会議録を公開した時点で速報版は削除します。

右のQRコードを携帯電話等で読み取ると市議会ホームページにアクセスすることができます。



第3回定例会の予定

議事の都合により日程や開会時間に変更される場合がありますので、詳しくは電話：0725-99-8154 議会事務局へお問合せください。

日 程	会 議	場 所	開会時間
9月 3日(月)	議会運営委員会	委員会室	午後 1 時
9月10日(月)	本会議(議案審議)	議 場	午前10時
9月13日(木)	厚生文教委員会・協議会	委員会室	午前10時
9月14日(金)	都市環境委員会・協議会	委員会室	午前10時
9月18日(火)	総務安全委員会・協議会	委員会室	午前10時
9月19日(水)	議会運営委員会	委員会室	午後 1 時
9月25日(火) ～27日(木)	本会議(一般質問)	議 場	午前10時
9月28日(金)	本会議(議案審議)	議 場	午前10時
10月 1日(月) ～ 5日(金)	本会議(役員選挙)	議 場	午前10時

第2回定例会・委員会の傍聴

	開催期間	傍聴者	ライブ映像 中継閲覧者(※)
庁舎整備 特別委員会	5月8日	0人	9人
本 会 議	6月8日 ～6月28日	26人	44人
常任委員会	6月13日 ～6月15日	4人	48人

※ 開催日ごとのライブ中継閲覧者数のうち、最大アクセス時の人数を累計したものです。

傍聴のご案内

- ・議 場…1号館4階【定員 40 名】
入口は1号館3階の税務室資産税担当横です。車いすの方は議会事務局までお越しください。
- ・委員会室…3号館3階【定員 7 名】
定員を超えた場合は本会議については委員会室、委員会については議会会議室で傍聴できます。
- ・受付時間は会議開会時間の15分前からです。

副議長 坂石 健治
委員 永岡 日香
委員 岡田 博子
委員 浜田 千子
委員 遠藤 隆志
委員 大浦 まさし
へ広報広聴委員会

編集後記
私の任期は今年で広報広聴委員の任期中は皆様のいたしめをもちまして、皆様方のおかげに深く御礼申し上げます。今後は引き続きご愛読くださいますようお願いいたします。

市議会へのご意見をお聞かせください

市民の皆さまにとって、より身近で開かれた市議会となるようご意見を募集しています。電話、ファックス、市議会ホームページの「ご意見・お問い合わせ」フォームなどからお寄せください。

〒594-8501
和泉市府中町二丁目7番5号
和泉市役所 議会事務局
電話：0725-99-8154 (直通)
FAX：0725-43-4525
HPアドレス：http://www.gijiroku.jp/izumi/index.html

